

参 考

第45回県政に関する世論調査の活用について

この度、平成24年12月に実施した第45回県政に関する世論調査について、県の諸施策・事業等への主な活用状況をまとめましたので参考までにお知らせします。

(1) 県政全般に関する意識調査

新たに総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」を策定するにあたり、県の施策が「進められているか」との問いに、「そう思わない」との回答が多かった「暮らしの安全・安心」等については、施策の充実を図りながら、わかりやすいよう、総合計画の構成や記述面などで工夫に努めた。

また、総合計画を「もっとアピールして欲しい」との要望については、総合計画を県のホームページや「県民だより」に掲載するほか、県民に見開きでわかりやすい概要版の発行などにより、周知を図り対応した。

(2) 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて

治安に対する不安感が解消されていない状況や警察官増員への要望が増加したことから、引き続き「警察官の増員要望」（平成25年6月「国の施策に対する重点提案・要望」等）を行った。

また、要望が多かった通学路や公園などの子どもが多い時間帯に重点的にパトロールを実施した。

さらに、認知度が低かった移動交番車に関しては参加者の多いイベントへの派遣やミニ広報誌の配布を行うなど、警察力の強化に向けた活動や警察業務全般に活用している。

(3) 高齢者が地域で暮らし続けるための施策について

地域包括ケアシステムの構築促進に当たり、重要な施策である医療・介護連携や介護施設整備、見守り等日常生活支援等の施策を検討するための資料として活用した。

その結果、今年度事業において、高齢者が住み慣れた地域で自立して生活していくための見守りや生活支援など、地域包括ケアの構築促進を図るモデル事業を実施する予定である。

さらに、今年度予定している次期千葉県高齢者保健福祉計画の策定において、施策を検討するための資料として活用する。

(4) 人権問題について

人権施策基本指針の改定（平成26年度）において、現状と課題を分析するための基礎資料として活用する。

また、学校における人権教育の充実への要望が高かったことから、人権啓発ビデオの貸出等案内冊子の配布を従来行っていた県立の中学・高校・特別支援学校に加え、新たに活用希望のあった千葉市等の小学校・中学校・特別支援学校への追加配布を行った。

(5) 県民の読書活動について

本を読まない県民や図書館を利用しない県民の割合が多かったことから、県立図書館のサービス向上のため平成26年1月からは国立国会図書館が提供するデジタル化資料を県立図書館でも利用できるようにした。

さらに、インターネットを活用した割合が低かったことから、平成24年11月の図書館システム更新を機に、これまで実施していた県民を対象としたインターネットの活用講座を充実するなどインターネットサービスの普及にも努めている。

(6) 環境保全に関する取り組みについて

環境基本計画にかかげるテーマのうち、「温室効果ガスの排出量削減」及び「環境に配慮した自主的行動と協働の推進」の計画の進捗を表す指標として、現況を把握し計画の進捗を測るために活用しているほか、調査結果を県環境白書にも掲載している。

(7) レジ袋の削減について

「ちばレジ袋削減エコスタイル」のさらなる推進を図るため、小売店とマイバッグキャンペーンを実施するなど、小売店との連携を強化し、「ちばレジエコサポーター」の増加に努めた。

また、レジ袋の削減が定着してきていることを受けて、その他の身近な環境行動の事例やアイデアを県民から募集し、事例集「私の3Rアイデア」を新たに作成し、市町村・地域振興事務所に配布した。

(8) ワーク・ライフ・バランスについて

ワーク・ライフ・バランスへの認知度が過半数にとどいていない一方、内容に賛成する意見は多かったことから、初級編、上級編、業種別に分けてセミナーを新たに開催した。

(9) 食育について

第2次千葉県食育推進計画の進捗状況を把握するため、農林漁業体験に参加した人の割合及び家庭で郷土料理などを作る人の割合について、当該計画の指標値として設定・活用している。